



スノーヒル

南緯64度22分 西経56度59分

アドミラルティ湾 (ウェッデル海) にあるスノーヒル島の北岸

主な特徴

- オットー・ノルデンショルド率いた探検隊の木造小屋
- 玄武岩岩脈の存在



概要

| | |
|----------|---|
| 地形 | 小屋はスノーヒル島の北東岸にある。この地の起伏には際だった3つの特徴がある。ひとつは、海岸線から等高線5~10mまで緩やかに高くなっていく地形で、堆積層の段丘がある。そのひとつにノルデンショルドの小屋が建っている。次に、そこから等高線170mまでの急な斜面 (15~40度)。この斜面は深い溪谷によってはっきりと分断されている。また海からの化石がたくさんあり、北東から南西方向へと玄武岩岩脈が走っている。この玄武岩岩脈はきわめて侵食されにくく、地質学的に重要な特徴を持っている。最後に、最も重要な特徴は、ハスラム・クラッグと呼ばれる小さな火山岩頸である。等高線170mの地点から、ウェッデル海に向かってなだらかに下降している。 |
| 動物相 | 繁殖が確認されている種:小屋から北東へ500mのところ、斜面に向かって北西の位置にミナミオオセグロカモメ (<i>Larus dominicanus</i>) とナンキョクアジサシ (<i>Sterna vittata</i>) の巣が3~5個。 |
| 植物相 (植生) | ほとんど見られない。 |
| その他 | スノーヒル島にある木造小屋は1902年2月、オットー・ノルデンショルド率いるスウェーデンの南極探検隊によって建てられた。南極条約のもとで第38南極史跡記念物に指定されている。小屋には探検当時のものが残っており、今も実際に活用されている。また博物館として、アルセンチンとスウェーデンが管理している。 |

訪問者の影響

| | |
|-------|--|
| 既知の影響 | 小屋内での破壊行為が記録されている。 |
| 潜在的影響 | 踏みつけによる侵食プロセスの悪化 (小屋があることが必然的に侵食を悪化させる)。火災。小規模な燃料漏れ。 |

上陸要件

| | |
|-----|---|
| 船舶* | 乗客500名以下の船舶**。一度に1隻の船舶に限る。船舶は24時間前までに小屋に連絡して訪問を伝えておくこと。 |
| 訪問者 | 探検ガイドとリーダーを除き、常に上陸は一度に100名以内。訪問者20名につきガイド1名。小屋を訪れる際は必ず事前に小屋の責任者の承諾を得ること。小屋の内部へは一度に5人以下のグループで入ること。19時から8時 (現地時間) の間は小屋に入れない。 |

訪問地区

| | |
|-----------|--|
| 上陸地区 | Comerci channelの北東部、小屋に向かって広がる海岸 (地図を参照)。 |
| 閉鎖地区 | 閉鎖地区A: 侵食の進行を防ぐため、小屋のある小さな段丘の北東端および南西端。この地区は杭とロープによって明確にされている。 閉鎖地区B: 急斜面の全域、ただし登るための経路は除く。この一帯には古生物学的に重要な堆積物がある。 |
| ガイド付き徒歩地区 | 訪問者は小屋と上陸海岸を往復するのに、地図に示された経路を使うこと。小屋がある段丘に登るときは階段を使う。小屋が位置する丘には一度に10人以上登ってはならない。小屋の後方にある斜面に登るには、旗で示された経路 (地図参照) をたどること。経路の最終部分にはロープが固定されており、上ってくる訪問者を支える。急斜面なので、ここには一度に最大10人しか上れない。また、必ずガイドが付き添うこと***。 |
| 自由散策地区 | 訪問者はガイドの監視のもと、上陸サイトとComerci channel南西突端部周辺の融氷流水平原を自由に散策できる (地図参照)。自由散策地区は斜面までとする。 |

* : ここでは船舶とは、12人以上の乗客を運搬する船に限る。

** : 乗客200以上の船舶の場合、小屋が位置する丘へ登ることも、小屋へ入ることも禁止。

*** : こうした活動に参加する訪問者は自らの責任でそれを行う。アルセンチンおよびスウェーデンはいかなる個人の怪我や財産の損傷に対しても責任を負わないものとする。



スノーヒル

南緯64度22分 西経56度59分

アドミラルティ湾(ウェッデル海)にあるスノーヒル島の北岸

訪問者の行動規範

上陸後の行動

小屋とその小屋の立つ小さな段丘の周辺では注意して行動すること。小屋の基礎を支える構造体を踏みつけたり、動かしたり、または損傷を与えないこと。小屋に入る前に長靴の汚れを落とすこと。服やバッグについた雪や水気を取り除くことが推奨される。展示物または小屋や関連キャンプで生活する人の私物に触れてはならない。喫煙厳禁。化石など、地面から何かを採取することは禁じられている。

注意事項

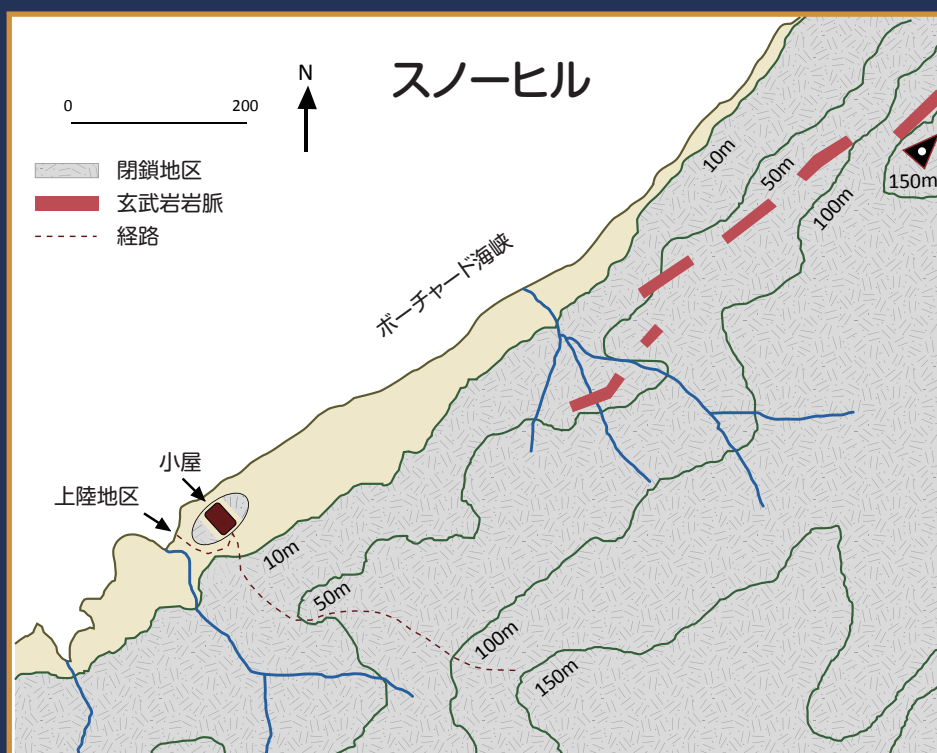
小屋の南東にある斜面を登る際は十分に注意すること。



小屋と周辺地区の風景



小屋の位置関係



ノルデンショルドの小屋の位置を示した地図